

あなたの声を市政に生かす

ふらっとホーム 2013 in 北区～市民と市長の2時間談義～



本年度、北区では平成25年9月9日に「ふらっとホーム 2013 in 北区」を開催し、8人の区民の方^{*}が市長と活発な意見交換を行いました。今回は、その内容の一部を紹介します。

^{*} 無作為に選ばれた北区民1,500人にご案内をし、申し込みをいただいた方の中から抽選で決定しました。

高齢者 などの 福祉



おむら
尾村さん

高齢者が自立して生活できるように、さまざまな情報を広報さっぽろやホームページで提供してほしいです。高齢者の自立、生きがいのためにはボランティア活動も有効だと思います。

上田市長

高齢者の中にも、福祉サービスなどを利用する必要がある方と、まだまだ元気だという方がおられます。介護予防のためにも、元気な方には自分でできることは自分でやっていただき、また、地域のために役立つことなども担っていただきたいと考えています。



さじ
佐治さん

知人がリフォーム詐欺に遭いました。高齢者を詐欺などの被害から守るにはどうしたらよいでしょうか。



上田市長

何か契約をする時には、誰かに相談してから判断してほしいですね。また、周りの人が注意をしてあげる必要があると思います。

いまた
今多さん

父が要介護認定の申請をしたのですが、認定までに1カ月以上かかりました。その間サービスが利用できず困ったので、認定前の特例として、短期入所可能な施設をつくってほしいです。



上田市長

緊急の状況であれば、利用できるショートステイ施設があります。区役所にある福祉の窓口にご相談ください。そこですぐに解決はできなくても、どこに相談に行ったらよいかというご案内はできますので、ぜひご利用ください。